

ご家庭の『備え』を いま一度、確認しましょう

避難場所・

避難経路の確認

根室市防災ハザードマップを活用し、避難場所や避難経路を事前に確認しましょう。

※屋外の高台等に一時避難する場合は、屋内施設への二次避難先まで見据えた避難経路も確認しておきましょう。



▲WEBマップ

家具等の固定

大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考え、転倒防止対策を確認しておきましょう。

《家具転倒防止対策の例》

- ・家具等が転倒しないように、壁に固定できているか確認しましょう。
- ・ベッドの頭上・高い場所に物がいないか確認しましょう。
- ・暖房器具の転倒防止対策を確認しましょう。

出火・延焼防止に

係る装備の確認

住宅用消火器等の準備、使用方法の再確認をしておきましょう。

※屋外灯油タンクが倒れていないか、燃料が安全に備蓄されているかの確認もしておきましょう。

家族等との安否確認手段の取決め

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でも、お互いの安否を確認できるよう安否確認の方法や家族の集合同所、連絡手段等を事前に話し合っておきましょう。

《災害伝言ダイヤル》

「171」に電話をかけ、伝言を録音

《災害用掲示板》

インターネットの掲示板サービスを仕様して文字で情報を登録

避難生活などに備えた

備蓄・装備の確認

- ・電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、飲料水、食料品、燃料、携帯トイレ等の備蓄を確認しておきましょう。
- ・停電時においても必要な情報を得るため、携帯ラジオ、携帯電話の充電器、予備バッテリー等も確認しておきましょう。
- ・冬の避難も想定し、しっかりとした防寒着、毛布なども確認しておきましょう。

令和4年12月23日～25日 高潮警報発表時

港湾施設が市民皆さまの命と暮らしを守りました!!

▼平常時の防潮堤施設周辺



海と岸壁の境目が分らなくなるほど大量の海水が陸地に押し寄せました

(令和4年12月23日～25日)

港湾施設である弥生町地区の防潮堤施設は、中心市街地への浸水など、度重なる高潮災害への対策として、平成29年11月から供用が開始されたもので、その後5年間における高潮による浸水被害を防ぎ、中でも、3日連続で高潮警報が発表され、クリスマスとも重なった令和4年12月末の低気圧接近時では、満潮時刻をピークとして、約20cmから30cmまで海面が上昇し大量の海水が陸地に押し寄せましたが、強固で高い水密性を誇る施設機能の発揮により、休日の家族団らんの場を浸水被害から無事守ることができました。

周辺住民の皆様には、日頃より防潮堤施設の運営に対するご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げますとともに、今後も地域防災に高い意識を持ちつつ、市民皆さまの安心・安全な生活の確保に努めてまいります。